

日綜産業

「法面2号」14セツト採用

富士山麓の沢整備工事で

軽仮設機材メーカー・レンタルの日綜産業(本社=東京都中央区、小野辰雄社長)は、静岡県富士宮市で行われている「富士山砂沢沈砂地工事」(施工=井上建設・弘瀬昇所長、発注=国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所)に法面工用仮設設備「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」14セツトを出荷しており、9日に報道向

け現場見学会を開催した。「法面2号」が今年5月に、NETIS(公共工事等における新技術活用システム)の「推奨技術」に選定されて以来、初の見学会。同現場は、仮に富士山が噴火した場合に予想される土石流などによる被害を最小限に抑えるため、富士山麓の沢を整備する減災事業の一環。現在、同工区

の仕上げとして沢の法面および底面を整備している中で、法面の昇降設備として「法面2号」が採用された。内



などの設置で大幅に作業時間を短縮

訳は、12型(長さ1.2m、自重15kg)が2セツト、20型(2m、22.5kg)が4セツト、30型(3m、28.5kg)が8セツト。現場には25-30度の斜面に設置された。

法面2号はアルミ合金製の階段で軽量、持ち運びが容易な点が特徴。ユニット式のため、

設置、解体、盛り替えなどの作業時間も大幅な短縮が可能で、単管とクランプを組み合わせた従来の階段との比較では、「条件にもよるが、1時間掛かっていた作業が20分程度で済むようになった印象」(弘瀬所長と好評。同製品が選ばれたNETIS内の「推奨技術」は、公共工事などに関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術と位置付けられており、今年5月の選定時点では、全部で4000件以上にのぼるNETIS登録技術のうち10件のみ選ばれていた。

日刊建設工業新聞

10月10日

水曜日
第18079号

発行所 ©日刊建設工業新聞社 2012 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 URL:http://www.decn.co.jp/

設置しやすく軽量

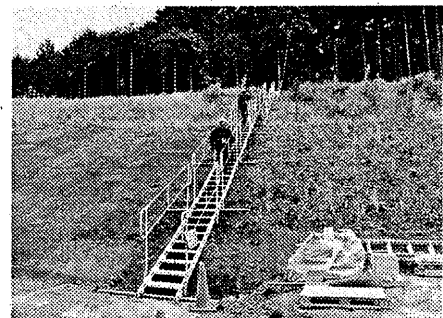
ユニット型昇降設備好評

日綜産業

日綜産業の法面工事に用いたユニット型昇降設備「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」が採用実績を伸ばしている。従来

の単管パイプにクランプ付きステップを1枚ずつ取り付けて設置する工法に比べ、設置に手間がかからない点や、アルミ合金製のため軽量である点などが現場で評価されていて、5月に国土交通省の12年度推奨技術に選定されたことも後押しになっているという。

同社は9日、法面2号ユニバーサルユニット自在階段が採用された「富士山砂沢沈砂地工事」の現場を報道関係者に公開した写真。工事概要は、砂防工事、護岸基礎工事、法覆い護岸工事など。現場では、長さ1・2mが



2基、2・0mが4基、3・0mが8基で計14基が採用されている。

工事の施工を担当している井上建設(静岡県富士市、望月猛社長)の弘瀬昇土木部工事は「少人数で設置・撤去ができるのはありがたい。感覚的には、従来のもの比べて3分の1程度の作業時間で済んでいる」と実際に利用した感想を述べた。

法面2号ユニバーサル

ユニット自在階段は、法面工事に用いた昇降設備をユニット化し、設置・解体作業の効率を大幅にアップ。本体と手すりをアルミ合金製にしたことで軽量化され、足元の悪い斜面でも運搬・設置が容易にできる。設置角度が自由に変わられる手すり付きステップも採用した。

推奨技術は、新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている技術から、国土交通省の新技术活用システム検討会議が公共工事などに関する技術の水準を一層高める新技术を選定する制度。選定された技術を活用すると、総合評価方式や工事成績評定(発注者指定型を除く)で加点されるなどのメリットがある。

建通新聞

静岡

発行所 建通新聞社

静岡支社 静岡市駿河区豊田1-9-34
〒422-8027 電話(054)288-8121
沼津支局 電話(055)962-5167
中部支局 電話(054)288-8121
浜松支局 電話(053)453-0908
<http://www.kentsu.co.jp/>
新聞定価6ヵ月 30,000円(税込)

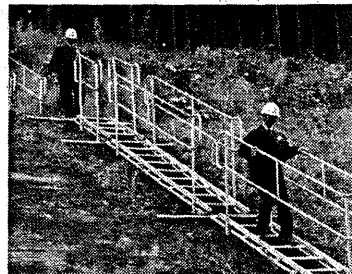
©建通新聞社 2012

発行紙
東京/神奈川/中部/大阪/岡山
香川/徳島/愛媛/高知

富士市の砂防 現場で見学会

日綜産業・法面
2号自在階段

日綜産業(東京都中央区)は9日、NETIS 2012年度推奨技術の法面昇降設備「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」の現場見学会を、富士市で行った。写真



同製品は、取り付け角度が20〜75度まで自在に

設定できるユニット式アルミ合金製階段。1・2・3段、2段、3段の3種を組み合わせて使用する。単管などのパイプステップに比べ、足元の悪い斜面でも容易に短時間で設置、解体が可能。踏み台は常に水平で手摺り付きなので安全。

見学会は、国土交通省富士砂防事務所発注の「平成23年度富士山砂沢沈砂池工事」で実施。護岸法面の昇降用に2カ所配置している。施工を担当する井上建設(富士市)の弘瀬昇所長は、「3年前にNETISを見て使ったのがきっかけ。軽くて持ち運びが便利。設置も手間がかからない」と話す。同社では、NETIS登録後に問い合わせが増え、県内では国、県などの山関係の現場で採用されているという。